

令和 3 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	34	学校名	静岡県立静岡高等学校定時制	記載者	小関 雅司
------	----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	学校・保護者・社会が協力して、生徒を育てる環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒個々の情報を把握することで、指導の足並みを揃える。 ・生徒との二者面談は 100%、保護者との三者面談は 90%以上実施する。 ・家庭における生徒と保護者の会話が増加する。 ・生徒情報の共有が計られ、より良い連携が図られる。 ・話しやすい、相談しやすい雰囲気と感じる生徒数が増加する。 ・生徒、保護者が通級指導や学習支援を活用する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が、生徒情報の入力共有ファイルを作成するなど、生徒情報の共有を大切にした取組は大いに評価できる。 ・二者面談、三者面談を 100%実施するなど、生徒理解と家庭との連携を十分に図ることができた点から、教員の頑張りが感じられ、個々の生徒をよく把握し、個人にあった指導をしている。 ・食堂や教室から先生と生徒がコミュニケーションをよく取っている様子が窺え、職員のチームワークがとても良く、着実に良い環境ができつつある。 ・結果として、生徒 33 人全員が登校していることは、素晴らしい。 ・保護者が体育祭、映画観賞会など学校行事に参加する機会を設けたり、保護者からの相談の場面が増えたことなど、家庭との信頼関係を築く取組を今後も継続してほしい。

イ	<p>わかりやすい授業の展開により、基礎学力の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解することで、学ぶことの楽しさを感じ、あきらめない姿勢を身につける。授業がわかると回答する生徒の人数を 70%以上にする。 ・全員が 2 回以上は合格する。 ・年度当初にくらべて、基礎学力の向上があったと実感できる生徒を 80%以上にする。 ・自らが課題を設定し、情報を整理し、考えをまとめ、発表できるようにする。また、物事に対する視野を広げる。 ・生徒の学習意欲が向上し、主体的に授業に参加する場面が増える。 ・年 2 回の授業評価で、生徒の授業への関心度の高まりが確認できる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad、プロジェクタ等の ICT 機器の活用や検定への挑戦の推奨、さらには、探究学習に取り組んだ成果が表れ、アンケートで「授業が分かり易く興味が持った生徒」が 94%、「学力や技能が身につく授業が行われている生徒」が 95%と生徒から回答があった点は、高く評価したい。漢字コンクールについては、合格できなかった生徒へのアフターフォローをお願いしたい。 ・ 10 月の授業参観から、生徒の表情が良く、教員の個に応じた、きめ細やかな指導が目立った。教員のやる気と工夫が感じられると同時に、管理職の的確な教員への指導が感じられた。 ・ 先生方が教えることを焦らずあきらめず、楽しそうに授業している様子にホッとしました。 ・ 生徒の学力差が大きいという課題に対して、「個別最適化の学びを意識した授業改善の取組」を推進したいという、今後の方向性は、生徒の実態に合致しており、着実に進捗させてもらいたい。今後の基礎学力の向上・定着、さらには、生徒の主体的な学びへの発展に繋がるものと確信する。
ウ	<p>言葉を大切にする姿勢と自分の行動に責任を持つ姿勢を育み、社会性を醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場に応じた態度やマナーを学校生活、社会生活で活用できる。 ・ 学校行事の意義を理解し自分の役割を認識して、主体的に行事を運営することで、自己肯定感・自己有用感を高める。 ・ 生徒が互いの意見や行動を認めるとともに、自分の意見を他者に伝え、責任をもった行動ができるようになる。 ・ 自分の生活を振り返り、見通しを立てることで成長を実感し、次への目標を明確にできるようにする。 ・ 日頃の活動や大会等の参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的实践力を身につける。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の笑顔と先生方に対する信頼が、社会性・マナーにつながっていると思う。 ・ 日々の指導に加え、マナー講座、1 年生への SST、特別支援講座等の実施が、生徒にとって、他者の尊重、言葉を大切にす姿勢などのマナーを身につけるきっかけとなっている様子が窺えて嬉しく思う。生徒が前向きに取り組んでいるという報告もあり、たいへん効果的であったと感じる。 ・ 適切な言葉遣いや場に応じた態度やマナーも大変重要項目ですので、更なる適正化を期待します。 ・ 生徒会が主導となり、学校行事を運営する機会を増やしたことは、失敗することもあったかと思うが、その失敗する経験も含めて、生徒の自己肯定感を高め、主体的に行動がとれる人間への成長に繋がるものだと思う。今後も、生徒の変容を信じて、熱意と愛情を持って取り組んでいただきたい。

様式第 5 号

	<p>年次ごとの体系的なキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、進路目標が明確な生徒数が増加する。 進路意識の向上とともに、希望進路の実現率 100%を達成する。 自己理解を深め、進路実現に向けた行動を取ることのできる生徒数が増加する。 全学年のハローワーク等外部機関への登録 80%以上となる。 就職希望者のアルバイトによる就労率 80%以上となる。 	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4年生で就職先の内定が得られていない方への指導を願う。 進路目標が明確な生徒の割合が 78.8%と高く、4年生の進路内定率も高い状況は評価できるが、体系的なキャリア教育は、まだ途上段階にあるということなので、今後の課題としたい。学年ごと段階的に、キャリア教育を推進できる形を目指してほしい。 外部から講師を呼び体験談を話してもらう等、社会とのつながりを工夫していきたい。 社会に出てから、一人でも生きていけるように技能を身につけて欲しい。 卒業生の各就職先での活躍・評判が、社会からの信頼に結び付き、在校生の就職先の確保や拡大に繋がっていくため、社会性、協調性などの資質を着実に身につける指導は大切である。
<p>オ</p>	<p>生徒・教職員の心身の健康の保持、増進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び教員の交通事故 0 件を達成する。 校内外における地震、火災等の際の避難方法を生徒・職員が完全に理解する。 薬物や飲酒、喫煙など身体的影響に関する理解率が向上する。 いじめや体罰が起りにくい、許さない環境にすることで、いじめの早期発見に努め、いじめによる生徒指導件数 0 件を達成する。 心身の健康を保持することで欠席、遅刻日数を減少させる。 発達段階や偏り、成育歴などの多様性に応じた指導・支援の充実により、早期対応・早期解決を図る。 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び教職員の交通事故がゼロであるなど、重大な事故がなく、安全な学校生活・登下校が確保できた点、さらには、いじめや体罰による生徒指導案件がゼロである点、コロナ感染に留意し、クラスターも出さない点は評価できる。 特別な支援が必要な生徒・家庭に対して、外部機関との連携、巡回通級、学習支援、各種支援事業等を活用して、生徒に応じた支援が機能している点も評価できる。 長欠者はいないという報告があったが、心身の健康が維持できずに欠席する生徒、遅刻する生徒はいるので、生徒の観察を十分に行い、生徒相談体制を充実させて、手厚い生徒への支援を継続してもらいたい。 生徒のことを考え様々の面から努力を続けている教職員に対して心より敬意を表する。
<p>カ</p>	<p>業務改善を進め、職員が働きやすい環境への改革を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の行事のねらいが重複するものについては、実施方法を変更もしくは廃止し、行事の精選を図る。 働きやすい、意欲的に働ける環境である。 業務に支障がない場合は、積極的に休暇を取得する。 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を新しい価値観を創出するきっかけとして、何が静岡高校定時制の価値観を高めるのか、生徒・教員にとって本当に必要な業務は何なのかを見直したい。「やめる・減らす・見直す」がキーワードとなる。思い切った「働き方改革」の推進を望む。 先生方には休暇を積極的にとって様々な体験をしていただきたいと思います。